

Jieyi Duan, Nobuyuki Hanaki, “The impact of asset purchases in an experimental market with consumption smoothing motives,” *ISER DP 1147*

日本語要約

本稿では、実験室実験の手法を用いて、事前公表ありの市場介入が資産価格および消費者福祉に与える影響を調べた。本実験では、被験者は、消費平準化をする動機のもとで資産の取引を行う。市場介入が存在する場合の介入前の資産市場価格は、市場介入が存在しない場合の市場価格より高いだけでなく、合理的な期待均衡価格をも大幅に超えていることが示された。一方で、このような価格変動をもたらす市場介入は、消費者福祉（実験の開始時点を基準として、割引された各期の収益の合計）に有意な影響を与えていないことも観察された。

（作成）段 杰一・花木伸行